

# 久慈農業改良普及センターだより



普及センター情報 212号

平成21年8月31日発行

久慈農業改良普及センター

TEL: 0194-53-4989 FAX: 0194-53-5009

普及センターホームページは検索画面で...

久慈農業改良普及センター 公式

検索

## 人と環境にやさしい農業に取り組もう！

～「久慈地方 第1回環境にやさしい農業の日」を開催しました～

7月28日、洋野町のグリーンヒルおおのを会場に「久慈地方(第1回)環境にやさしい農業の日」と題した研修会を開催しました。この研修会は、久慈地方における環境保全型農業と安全・安心産地づくりの推進に向けた取り組みの一環として、当普及センターと久慈地方園芸推進センター等の共催で開催しました。

当日は、産直施設出荷者および水稲、ほうれんそう生産者、関係者ら、約100人が参加し、環境に配慮した病害虫防除法やエコファーマー制度、GAPの取り組み等について研修し、「人と環境にやさしい農業」について考える1日となりました。また、研修後には水稲とほうれんそうの分科会に分かれ、栽培技術や今後の管理について検討したり、現地圃場で新しい防除法の実演などを見学しました。

当地方で「環境にやさしい農業」をテーマとした研修会を開催したのは初めてでしたが、参加者には大変好評でした。普及センターでは、今後も継続的にこのような機会をつくり、生産者の皆さんとともに「人と環境にやさしい産地づくり」を進めていきます。



新しい防除法の実演を食い入るように見つめる参加者。  
(ほうれんそう分科会)

## 集落営農組織の設立を目指します

～ 宇部地区の集落営農組織設立に向けた研修を行いました～

去る7月29日、久慈市宇部町の農業者28名が、集落営農について学ぶため、秋田県鹿角市の「用野目地区営農集団組合」と「用野目ファーム」の視察研修を行いました。

宇部地区は水稲を中心とした農業を営んでいますが、農業者の高齢化や後継者不足、水田の排水不良や区画が小さく作業しにくいことなどの理由で休耕地が目立ってきています。

このため、組織的に営農に取り組むことや作業しやすい土地条件の整備に向けて、ほ場整備事業を導入することが検討されています。

今回の研修では、ほ場整備事業と、これに併せた集落営農組織設立の方法や、作業実施組織である用野目ファームの活動内容を学びました。中でも、担い手を中心に地域の労力を活用しながら取り組んでいる枝豆生産に高い関心があったようでした。

帰路の車中では、「参考になった」「早くほ場整備事業を進めてほしい」などの感想が聞かれ有意義な研修となりました。



枝豆作業機械の説明を聞いています

## いもち・カメムシの発生は見逃さない！

～ 水稻病虫害発生状況一斉調査を実施しました ～

今年の久慈地方は7月中旬以降、曇雨天の日が続いており、水稻の生育の遅れやいもち病の発生が懸念されています。

そこで、8月6日に岩手北部地域病虫害防除連絡協議会が関係機関・団体と連携し、管内一斉のいもち病と斑点米カメムシ類の発生状況調査を行いました。

この調査は、水稻の作柄安定と品質向上をねらいに、昨年からは実施しているもので、当日は各市町村、JA、NOSA I、普及センターの職員総勢13名が3班に分かれ、各地の水田を調査しました。

その結果、葉いもち病の発生が広域に確認され、今後穂いもちの多発を招くことが懸念されたため、各市町村の防災無線等を活用して、防除の実施を呼びかけました。また、斑点米カメムシ類については、調査での発生量は少なめでしたが、これから本格的な発生時期を迎えるため、基本防除の徹底を呼びかけています。

病虫害の防除は「早期発見・早期対処」が重要です。今後とも関係機関が協力して管内の病虫害の発生を監視していきます。



いもち病とカメムシの調査の様子



各地でいもち病の発生を確認しました

## アグリビジネス創出セミナー（第2回）開催

8月4日、洋野町の農産物加工施設等で、「平成21年度アグリビジネス創出セミナー（第2回）」が開催されました。

本セミナーは、農産物の加工・直売など、地域資源を活用したアグリビジネスの経営戦略の立て方を学ぶことを目的に、中央農業改良普及センターが主催し5回コースで開催しているもので、久慈地域では洋野町の4経営体が受講しています。

1回目の全体講習に続き、今回は受講生の課題提起を基に講師が現場を巡回し、改善点を指導するという内容でした。

講師の高木響正先生（事業戦略構築研究所AX代表）からは、商品に込めたメッセージの消費者への伝達の工夫、得意商品の明確化と磨き上げ、加工品の副産物の活用方法等についての的確なアドバイスを受けました。また次回までの宿題も出て、受講生からは、「自慢の加工品のレベルアップを図りたい」「販売パッケージを変えてみたい」などの声が聞かれました。

残り3回の講習により、商品はもとより、経営者本人も磨かれること間違いのないようです。



講師の高木先生(写真左)から湯葉の販売形態、副産物の加工についてアドバイス

## 見ごたえのある花壇が勢ぞろい

～ 洋野町の生活研究グループによる花壇巡回審査会が開催されました ～

8月26日、洋野町の生活研究グループによる花壇巡回審査会が、会員29名の参加のもと開催されました。審査会は参加グループの13箇所の花壇を巡り、花壇の設計や管理の状況、環境美化の観点から審査されました。

花壇の花の種類はマリーゴールド、サルビア、アゲラタム、ペチュニア、ペゴニア等が多く植えられていましたが、花壇の面積や形は様々で、デザインもグループごとに工夫がされており、思わず「きれい！」と声上がる花壇も見られました。

審査講評では「今年は雨が多かったにもかかわらず花柄つみや除草がしっかりと行われ、きれいに咲いている。また花壇の形を生かしてアーチ型や三角型に配置したり、各種彩りの花の組合せが優れた花壇が多かった。来年は、新しい花にも挑戦してみしてほしい！」との講評がありました。

全ての花壇を見終えた後、グループ員から「他のグループの花壇を見ることができ参考になった」「堆肥を入れて花のボリュームを出したい」「春から秋まで長く楽しめる花をさがしたい」等々の話が出て、来年への意気込みが強く感じられました。



美しい彩りの花壇



花で文字や絵を表現した花壇

## 技術情報

### ほうれんそう

9月～10月は、台風や秋雨前線の影響により、降雨が多く、べと病の発生が心配されます。また、近年は、集中的な豪雨が多く見られるようになっていきますので、これまで以上の排水対策をとり、ハウスへの浸水を防ぎ、べと病の予防を徹底しましょう。

台風が近づく場合は、強風被害が心配されます。ハウス支柱の補強やビニールの補修等、万全の対策を行いましょ。

#### 1 品種

ハンター(9月上旬～9月下旬)・・・立性で収穫しやすく、低温伸長性が良好ですが、10月以降の播種には適しません。べと病レース1～7に抵抗性あり。ミストラルより葉の色が濃く収量性も高いです。高温には決して強くないため、極端な早播きは避けてください。

#### 2 病害虫防除

ハンターはべと病に強い品種なので、予防散布を1回行えば、十分に防除できるでしょう。お盆すぎからシロオビノメイガが多発しています。虫食いのあとを見つけたら早めに防除を行ってください。ケナガコナダニも春に続き多発が予想されますので、本葉出始めからの防除を徹底してください。

### 水 稲

落水が早過ぎると品質低下の原因になりますので、「間断かんがい」を行いましょ。

稲刈りが順調に行えるよう事前に収穫機械・乾燥機等の点検を行いましょ。

登熟状況をよく観察して適期収穫に努めましょ。

#### 1 出穂状況(管内平均):始期8/9、盛期8/13、終期8/18

今年は7月下旬以降、気温が低く日照も少ない日が多かったため、出穂は平年に比べ5日程度遅れました。

## 2 落水時期

稲刈りに向けた落水が早過ぎると、収量のみならず品質を落とす原因になります。根の活力を保ち、登熟を良くするため「間断かんがい」を行いましょ。落水時期の目安は、排水の良い水田で出穂後35日頃から、排水の悪い水田では出穂後30日頃からです。

## 3 収穫適期

収穫適期は、黄化籾割合が80～90%が目安です。適期を逃さないよう、登熟状況をよく観察しましよ。

## 4 収穫機械等の点検

適期に速やかに収穫が行えるよう、事前に収穫機械、乾燥機等を点検・整備しておきましょ。

## ヤマブドウ

## 収穫作業

簡易糖度等を利用し、房の先端の粒が15%程度になるのを確認して収穫しましょ(粒の搾り汁が紫に色づき始めてから20～25日後が収穫の目安です)。

収穫は晴れた日を選んで行い、腐敗粒、虫害粒、青未熟粒、割れた粒を取り除きましょ。収穫した果実はすみやかに出荷もしくは冷蔵保存しましょ。ただし、冷蔵後も速やかに出荷、加工をしましょ。処理が遅れると発酵が進み、糖度が落ちることがあります。

## 収穫後の管理について

収穫後も来年の芽の充実のために葉は1ヶ月は残しておきましょ。

ブドウトラカミキリ対策のため、特に樹齢5年程度までの若樹には、収穫後にサッチューコートS(100倍)やモスピラン水溶剤(2,000倍)を使用しましょ。使用方法はそれぞれの薬剤のラベルに従ってください。

## りんどう

## 花腐菌核病に注意!

花腐れ菌核病への警戒が必要な時期に入っています。防除暦に従って薬剤散布し、散布間隔を長く空けないようご注意ください。

1 防除開始の時期: 蕾が色づき始めた頃

2 効果の高い薬剤

┌ ベフラン液剤25(8回以内、1,500倍)

└ ベンレート水和剤(6回以内、3,000倍)

3 防除のポイント

- ・ 雨上がりを狙って薬剤散布しましょ。
- ・ あわせて耕種的防除を行ってください。発病した株は、折り取って焼却!
- ・ ご注意! 今年定植したりんどうにも花腐菌核病は発生します。花が咲いたら、病気がついていなくても折って、畑の外で捨てるか、焼却してください。

## イベント情報

## 【久慈地方(第2回)環境にやさしい農業の日】

1 日時 平成21年 9月 8日(火) 10:00～16:00

2 場所 野田村 生涯学習センター

3 内容 環境保全型農業と安全・安心産地づくりについての研修等

・ 午前の部 水稻栽培研修会

・ 午後の部 ふれあい農業研究センター(詳細別紙)

\* 環境保全型農業 展示・相談

\* エコファーマー認定についての説明会

4 連絡先 久慈農業改良普及センター 飯村・高橋

電話 53-4989 FAX 53-5009

